

令和7年度東成区運営方針 課題別取組

課題1 安全で安心なまちづくり

【具体的取組（防災）】

令和7年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

- ・地域等における震災訓練や防災に関する研修等の実施：18回
- ・災害時要支援者の個別避難計画作成を新たに取り組んでいく地域：3地域
（令和7年度末で全11地域が個別避難計画策定済み）
※本市目標：令和8年度末までに全地域個別避難計画策定
- ・SNSを活用した分散避難や備蓄の重要性を中心とした防災啓発：55回
※警報対応、震災訓練等を除く
- ・学校園に対する防災講座等啓発活動：5校園（9回）
- ・区役所職員等対象の訓練や研修の実施：5回

【業績目標】

▶防災

災害時要支援者の個別避難計画を運用している地域（令和6年度までの実績：8地域）

【目標】

全11地域中10地域

→

【実績】

全11地域中11地域

▶防災

東成区災害時協力企業等登録事業所の登録数（令和6年度までの実績：125事業所）

【目標】

138事業所

→

【実績】

129事業所



地域の災害救助部長への出前講座



中学生への防災技術研修

【具体的取組（防犯・安全対策）】

令和 7 年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

- ▶ 特殊詐欺の被害防止のため青パトによる巡回啓発に加え、地域における高齢者向け啓発を継続強化するとともに、本市特殊詐欺対策機器貸与事業を推進した。
 - ▶ 子ども事案及び街頭犯罪の抑止に向けて、警察等関係機関との連携のもと、地域の自主防犯活動との連携による啓発活動を積極的に支援するとともに、防犯教室の開催をはじめとした防犯対策を推進した。
 - ▶ 駅周辺については、歩行者や自転車が安全安心に通行ができるよう、放置自転車をはじめとした車道逆走、事故防止等に対する自転車利用のマナーアップ啓発など啓発活動等に取り組んだ。
-
- ・ 地域の見守り隊などと連携したあんパトによる地域巡回
 - ・ 就学前児童の防犯啓発、子ども防犯教室等の開催
 - ・ 「安全・安心ミニフェスタ」の開催
 - ・ 大阪市特殊詐欺対策機器（自動通話録音機）貸与事業の推進
 - ・ 自転車等利用マナーアップ啓発
 - ・ 自転車前かご「ひったくり防止カバー」装着による啓発
 - ・ ふれあい喫茶などの場での地域への交通安全や自転車利用のマナーアップ啓発



安全安心フェスタ



新1年生通学路安全啓発

課題2 教育・子育て環境の整備

【具体的取組 教育環境の整備（その1）】

令和7年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

＜子どもたちや学校を支える環境づくり＞

- ・区長と学校長との意見交換の実施・教育行政連絡会の開催
- ・児童生徒の保護者と区長が意見交換を行う東成区教育会議の開催
- ・学校協議会への区職員の参加
- ・民間事業者を活用した課外学習の実施
- ・子どもの体力向上に向けた区長表彰の実施
- ・子どもの国際理解を育む取組の実施
（留学生や海外ボランティア経験者による出前講座、学校への翻訳機貸与）
- ・子どもの人権意識を育む取組の実施（人権映画会）・平和学習の実施

＜不登校の改善及び未然防止の取組＞

児童生徒が健やかに成長し、様々な活動を通じて、自らの可能性等を認識しながら、自分らしく生きる力を身につけることができるよう、学校施設を利用した様々な習い事を実施。

＜人生をより深く生きる力等を育むために必要不可欠な読書活動の推進＞

- ・区内の小学校5～6年生の児童及び中学校の希望する生徒を対象に「電子書籍定額閲覧サービス」を導入し、児童生徒へ個別貸与している学習用端末を利用して電子書籍の閲覧を可能とすることで、読書活動の推進を図った。
- ・子どもたちが本に親しみ、読書の楽しさを知ることにより、読書習慣の定着につなげるためのきっかけづくりとして、読書の努力が認められる児童を東成区長が表彰する取組を実施。

【業績目標】

▶教育環境の整備

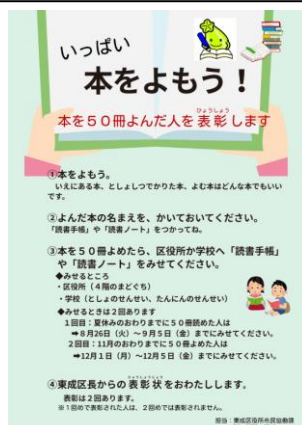
- ・学校が地域や区役所からの連携や支援を得られていると感じる学校関係者の割合

【目標】

80%

【実績】

→ 86.7%



読書表彰チラシ



海外留学生による出前授業

【具体的取組 教育環境の整備（その１）】

令和 7 年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

＜体験活動等を通じたキャリア教育の推進＞

- ・児童生徒がモノづくり企業と触れ合う機会を提供し、モノづくりへの興味や関心を高めることで、将来の進路を考えるきっかけとした。
- ・具体的には、児童生徒及び保護者が、工場見学会（オープンファクトリー）やモノづくり体験等を通じてモノづくり企業を身近に感じることができる「東成こどもモノづくり体験フェスタ」を開催した。

（R7実施）

- ・東成こどもモノづくり体験フェスタ

令和8年 1 月 24 日（土）東成区民センターで開催

来場者数 310 名（小学生 144 名、保護者・未就学児 166 名）

（出展者）区内企業 14 社、区外企業 2 社、4 団体、1 教育機関

- ・工場見学会「わが町工場見てみ隊」

令和8年3月24日（火）～26日（木）の間、開催。区内企業5社参加。

【業績目標】

▶教育環境の整備

- ・モノづくり体験イベント来場者のうち、「モノづくりへの興味・関心が高まった」と感じた来場者の割合

【目標】

【実績】

90%以上 → 97.4%

東成こどもモノづくり体験フェス



工場見学会「わが町工場見てみ隊」



【具体的取組（子育て支援ネットワークの強化）】

令和7年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

- ・6月20日～23日 ひがしなりっ子すくすくつながるフェア（保育施設等の情報展）を実施。123世帯参加。
- ・9月～11月末 ひがしなりっ子すくすくつながるスタンプラリーを実施。
景品交換数—108個
3ヵ月の開催期間中に149名の加入があった。
- ・11月5日 ひがしなりっ子すくすくつながるだいぼうけんを実施。
0歳～3歳児の子育て世帯62世帯63人の子どもが参加。
アンケートの結果、参加して満足した人の割合100%
- ・ひがしなりだよりの他、SNSを活用した情報発信
東成区ホームページ、Facebook（29回）、メールマガジン（12回）、X（56回）

【業績目標】

行政や地域の子育て支援の取組に満足する子育て世代の区民の割合
（令和7年度：95.0% 子育てイベント時、乳幼児健診時のアンケートによる）

【目標】

【実績】

【目標の達成状況】

90%を維持 → 95.0% 「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」
登録率の0～6歳の区民における割合 → 59.9%（R7.9月末現在）



ひがしなりっ子すくすくつながるフェア



ひがしなりっ子すくすくつながるだいぼうけん

課題3 地域における協働による保健・福祉への取組

【具体的取組（地域福祉の推進）】

令和7年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

- ・地域の身近な相談支援窓口を担う地域福祉活動サポーターを継続して配置し、要援護者への支援コーディネートや地域福祉活動の活性化を行った。また「おももりネット事業」を活用した地域におけるつながりづくりを支援した。
- ・地域福祉活動サポーターや民生委員などの地域活動者で見守り相談室・関係機関が地域の課題を共有し、地域のつながりをいかした見守り機能の充実を図るなど、課題解決に向けた検討の場を支援した。また必要に応じ、医療・介護・福祉などの専門的機関へつなげるなど、要援護者支援の充実を図った。
 - 地域の課題共有、解決検討の場の運営：33回（内、各校下での「見守り・つながり学習会」11回）
 - 地域福祉に関する啓発の取組みを実施：10回（内、区広報紙での情報発信7回）
- ・だれもが健やかに、自分らしく安心して暮らし続けられるよう、在宅医療・介護連携推進事業をはじめとした地域包括ケアシステムの構築を進めた。
 - 在宅医療・介護連携の推進にかかる講演会・連絡会の開催：58回（内、人生会議（ACP）にかかる講演会・学習会16回）

【業績目標】

だれもが健やかに、自分らしく安心して暮らし続けられる東成区をめざして、お互いを「気にかける・つながる・支え合う」地域づくりに取り組んでいると実感している地域活動者の割合

【目標】

70%以上

→

【実績】

92.2%



東成区女性会を対象にした「人生会議」の学習会



おももりネット手帳・カード



全11地域で実施した「見守り・つながり学習会」



障がい者に対する理解を深めるための
区民公開講座

【具体的取組（健康づくりの推進）】

令和7年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

- 若年層（小中学生）を対象に、健康づくりの基本となる食育に関する事業を実施。
- 全年齢層を対象に、生活習慣病予防をテーマとした、健康に関心を持てる体験ブースや健康指導などを行うイベント「食育&健康フェスタ」を実施。
- 高齢層を対象に地域で継続的に介護予防活動に取り組む「いきいき百歳体操」を地域住民と連携して展開。
- 住民の身近な場所で健（検）診勧奨チラシの配架及び受診率アップキャンペーンを実施。
- 地域で健康づくり（栄養や運動など）啓発講座を実施。

【業績目標】

イベント参加後に「栄養・食生活」「運動」に取り組もうと回答した割合
（令和6年度食育&健康フェスタアンケート：90.1%）

【目標】

【実績】

85%以上 → 90.0%



食育&健康フェスタ



食育授業



いきいき百歳体操



啓発チラシ配布

課題4 人生100年時代における区民主体のまちづくりの推進

【具体的取組（地域活動協議会の更なる活性化）】

令和7年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

まちづくりセンターを中心に区役所と協働し以下のとおり行った。

- ・区内企業やNPO法人、市民活動団体など、多種多様な関係先と地活協との連携を多数生み出すことにより、地域コミュニティの活性化や地域資源の発掘につなげた。
（「地域活動とアート、コミュニケーション&就労支援」「地域活動で若い世代とつながろう」をテーマにまちセンセミナーを開催、大学生ボランティアとの連携促進、区内企業と地活協との連携促進 など）
- ・第一層支援として、令和6年度に策定した「東成区町会加入促進アクションプラン」をもとに町会加入にかかる情報交換会の開催やチラシ作成、地活協独自の情報発信媒体の活用など、ニーズの掘り起こしから地域課題の解決まできめ細やかな支援を実施した。
（「町会・地活協とまちづくり」をテーマにまちセンセミナーを開催、町会加入促進のチラシや町会プロモーションマップ等の作成支援、学生会館と地域との協議の支援など）

【業績目標】

地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態に最も肯定的な「そう思う」と回答した割合（令和6年度：60.0%）

【目標】

63%以上

【実績】

66.8%



まちセンセミナーの様子



町会加入を呼びかけるチラシ

【具体的取組（マルチパートナーシップの推進）】

令和7年度 主な具体的取組・業績目標

【主な具体的取組】

- ・ひがしなりソケット主催の地域・社会的課題解決の取組を推進するための事業への協力、広報の実施（4回）
- ・大阪・関西万博を契機とした区内飲食店等（東成区SDGs宣言者）の協力によるSDGs万博バル（来阪者に区内の回遊を促し、区の活性化に繋げる）の開催
- ・区内の公立中学校の生徒と区長が意見交換を行う「ひがしなり未来会議」を開催（1回）
※「ひがしなりソケット」の発案による取組
- ・東成区SDGs宣言書のリニューアル、制度の広報、宣言のPR
- ・東成区に親和性のあるSDGsゴール17「パートナーシップで達成しよう」の設定、広報周知
- ・区内企業が取り組むコスメバンクプロジェクトへの協力、団体（母と子の共励会）連携の調整（2回）



ひがしなりソケット



コスメバンクプロジェクト

【業績目標】

- ・東成区SDGs宣言の宣言団体数 10%増（令和7年3月末時点 196団体）

【目標】

10%増（216団体）

【実績】

15.7%増（226団体）



ひがしなりソケット主催
終活ワークショップ



東成区SDGs宣言書の
リニューアル



東成区SDGs宣言書協力者
によるマルシェ、バルの開催



ひがしなり未来会議



コスメバンクプロジェクトへの協力

